

償還交付運用報告書

グローバル変動金利債券ファンド (為替ヘッジあり) <ラップ>

追加型投信／海外／債券

繰上償還

作成対象期間：2018年8月30日～2019年7月16日

最終期 償還日：2019年7月16日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「グローバル変動金利債券ファンド（為替ヘッジあり）<ラップ>」は、信託約款の規定に基づき、2019年7月16日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法


<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

 東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
 お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

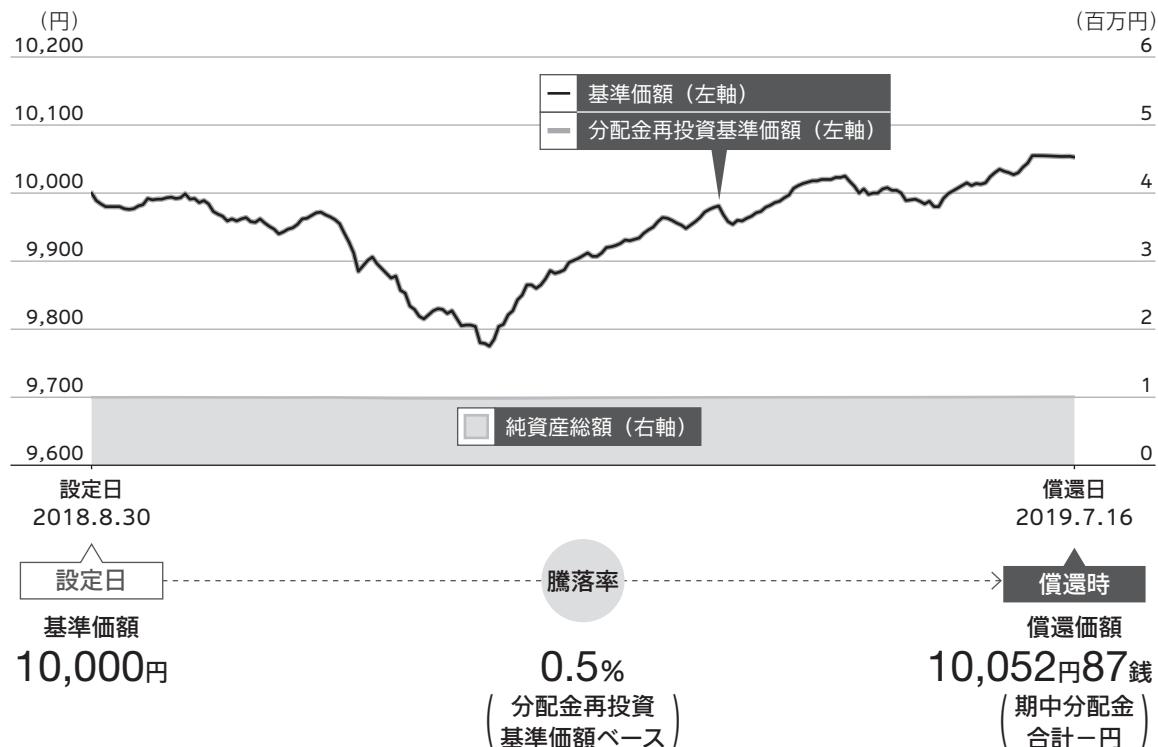

0120-69-5432

償還時 2019.7.16	
償還価額	10,052円87銭
純資産総額	1百万円
最終期 2018.8.30～2019.7.16	
騰落率*	0.5%
期中分配金合計	－円

* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

グローバル変動金利債券ファンド（為替ヘッジあり）〈ラップ〉

高位に組み入れていたマザーファンドのインカム（利子）要因等がプラスに寄与しました。対円で為替ヘッジを行っていたため、為替の動きによる影響は限定的となりました。

グローバル変動金利債券マザーファンド

期中の騰落率は－1.5%となりました。

保有する債券のインカム（利子）要因等がプラスに寄与した一方、為替において保有通貨である米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で下落したこと等がマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.407%** です。

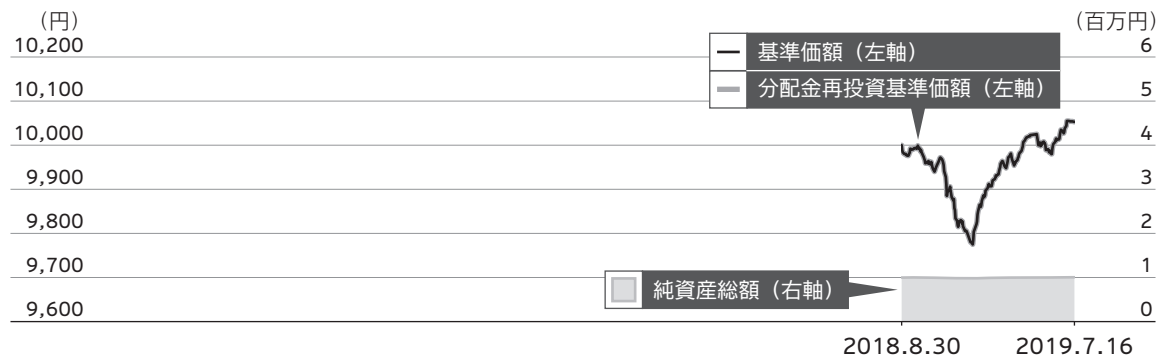
項目	最終期 2018.8.30~2019.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	0.389%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,951円です。
(投信会社)	(30)	(0.304)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(5)	(0.047)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.012)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.005)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	41	0.407	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2014.7.16～2019.7.16



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2018.8.30 設定時	2019.7.16 償還日
基準（償還）価額	(円)	10,000	10,052.87
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	—
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	0.5
純資産総額	(百万円)	1	1

● 投資環境

設定来のグローバル変動金利債券市場は上昇しました。期初は、米中貿易摩擦やイタリアの財政政策、英国のEU（欧州連合）離脱交渉に対する不透明感等を受けて、グローバル変動金利債券市場は上値の重い展開となりました。その後も2018年末にかけて、米国の主要経済指標の悪化に伴うグローバル景気の先行き懸念等から投資家のリスク回避姿勢が強まり、グローバル株式市場が大きく下落する中、グローバル変動金利債券市場は下落しました。2019年に入ると、米国の主要経済指標が市場予想を上回ったこと等を背景に、グローバル株式市場が大きく回復する中、グローバル変動金利債券市場も上昇に転じました。5月には、米中貿易摩擦の激化懸念や2019年のユーロ圏のGDP成長率の下方修正等を背景に、グローバル変動金利債券市場が下落する局面もあったものの、その後は、米国の利上げ期待が後退し、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和を示唆したこと等を受けて、主要株式市場が続伸する中、グローバル変動金利債券市場は再び上昇して償還を迎えました。

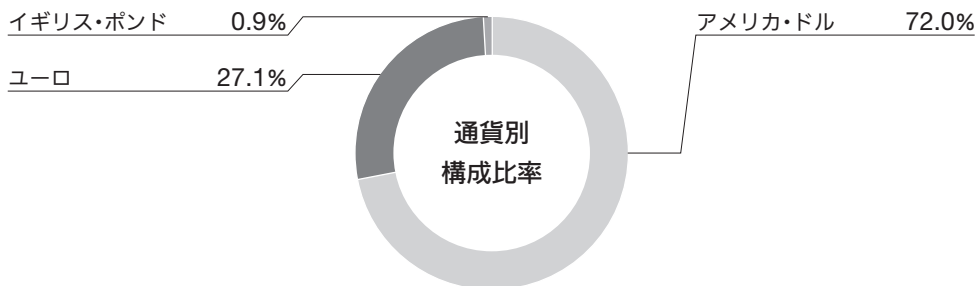
為替市場は、米国の利下げ観測の高まりや、ECBの追加金融緩和への期待、英国のEU離脱に対する不透明感等を受けて、対円で米ドル、ユーロ、英ポンドが下落しました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

グローバル変動金利債券マザーファンドへの組入比率を高位に維持した後、2019年7月上旬に全売却しました。なお当ファンドでは、対円で為替ヘッジを行いました。

グローバル変動金利債券マザーファンド

先進国の優良企業が発行する変動金利債券を中心に、一部固定金利債券の組入れによるポートフォリオを維持しました。投資対象とする債券は、取得時においては発行体格付けが投資適格の債券で、通貨は米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建てのものとし、発行体の分散を図りました。ファンドの資金流入に対しては、その時点で投資魅力度の高い銘柄の組入れを図り、債券組入比率は高位を保ちました。ポートフォリオのデュレーションは1.5年未満とし、金利上昇リスクを抑制しました。



注1. 比率は、2019年7月2日における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金



該当事項はありません。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

<償還を迎えて>

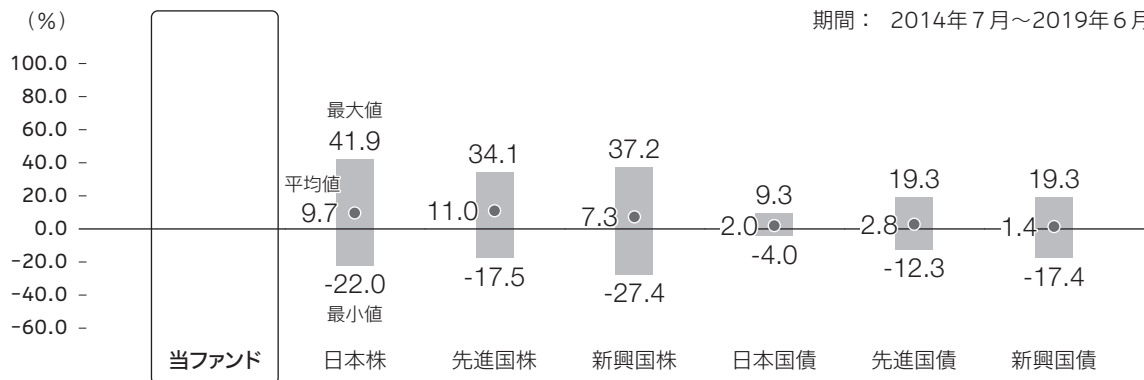
当ファンドは、2019年7月16日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2018年8月30日から2019年7月16日まで（当初、2023年9月15日まで）
運用方針	信託財産の成長を図ることを目指します。
主要投資対象	<p> グローバル変動金利債券ファンド（為替ヘッジあり）〈ラップ〉 グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券</p> <p> グローバル変動金利債券マザーファンド 各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等</p>
運用方法	<p>① 主として各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券等に分散投資を行います。マザーファンドにおける、債券の運用指図に関する権限を、ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエーに委託します。</p> <p>② 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。</p> <p>③ 当ファンドは、販売会社の提供するラップ口座に係る投資一任契約に基づいて、ラップ口座の資金を運用するためのファンドです。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間： 2014年7月～2019年6月



① 資料作成時において、当ファンドの運用期間が1年未満のため、当ファンドの年間騰落率を記載しておりません。

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は11～12ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2019.7.16
純資産総額	1,005,287円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり償還価額	10,052円87銭

※ 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。